

CAPAプロジェクト

～我々日本企業が考える自動車解体事業とは～

株式会社 CRS埼玉

- ・ 会社紹介
- ・ 日本と中国の解体手法比較
- ・ 日本と中国の指標比較
- ・ 卡帕(張家港)資源再生有限公司 概要1
- ・ 卡帕(張家港)資源再生有限公司 概要2
- ・ 卡帕(香港)資源再生有限公司 構想図
- ・ 参考資料
- ・ お問い合わせ

会社紹介



- 2004年 2月
 - ・ 会社設立
 - 資本金 3億9000万円
 - 株主構成 株式会社青木商店 : 51% / 日商岩井株式会社 (現 双日) : 49%
- 2004年 6月
 - ・ 工場稼働
- 2004年12月
 - ・ 自動車リサイクル法 解体業・破碎業 許可取得
- 2004年12月
 - ・ 全部再資源化事業者 経済産業・環境大臣認定
- 2005年 5月
 - ・ ISO14001 取得
- 2008年 2月
 - ・ CRS NZ CO.,LTD.(NEW ZEALAND) 設立
- 2008年10月
 - ・ CRS MALAYSIA SDN.BHD(MALAYSIA) 設立
- 2008年12月
 - ・ AQSIQライセンス取得
- 2010年 7月
 - ・ ISO9001取得
- 2011年 7月
 - ・ CRS INTERNATIONAL PTE.LTD.(SINGAPORE) 設立

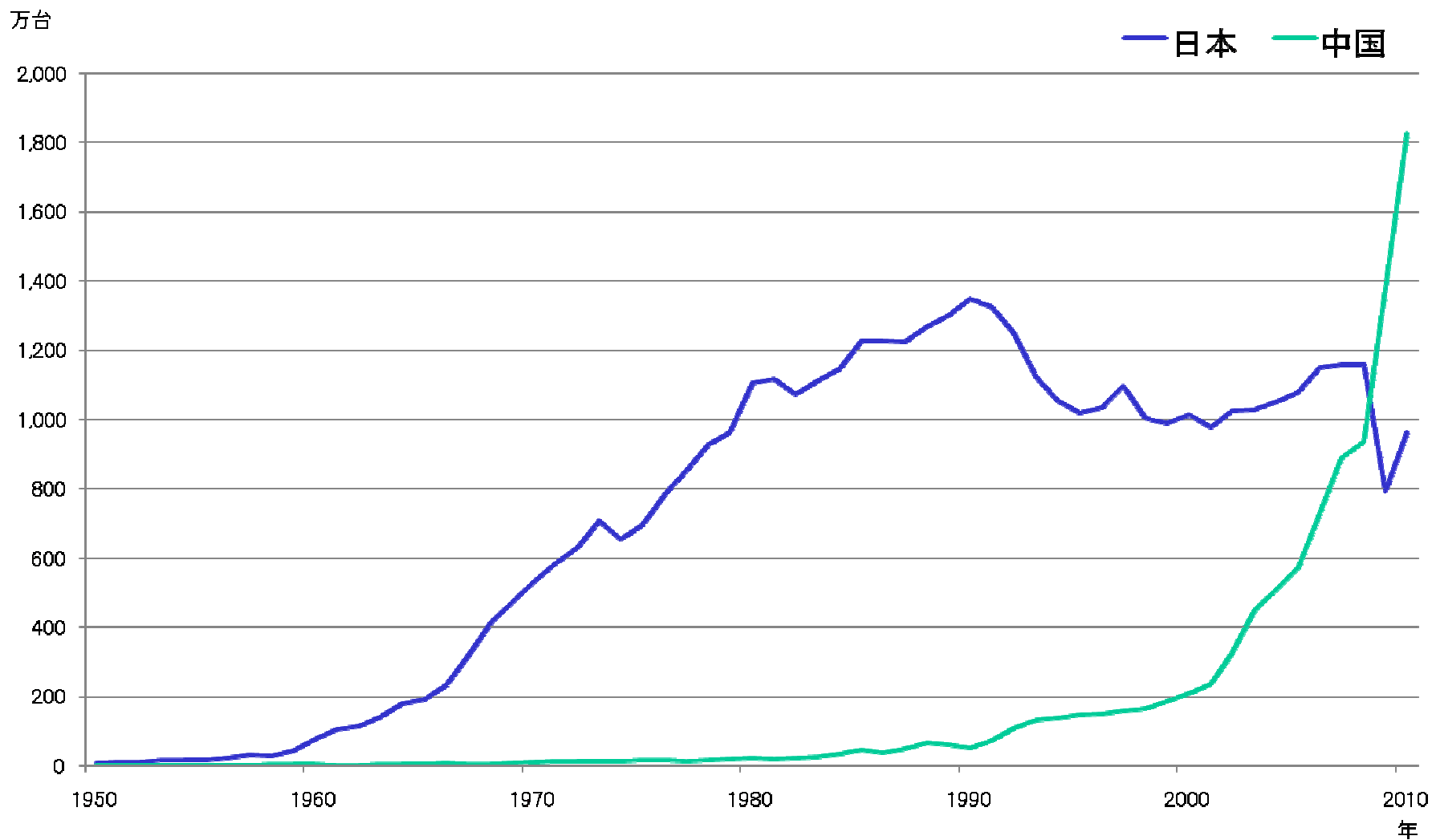


日本と中国の解体手法比較



分類	項目	日本	中国
環境的側面	フロンガス	回収・破壊が義務付け	技術標準で規定
	エアバック	回収・破壊が義務付け	技術標準で規定
	シュレッダーダスト	回収・リサイクルが義務付け	-
	油対策	油水分離層設置	技術標準で規定
技術的側面	解体手法	セル方式+ライン方式	主にセル方式
	トレーサビリティ	ITで管理	無し
市場的側面	中古部品流通	ネットワーク販売	ネットワーク組織無し
	中古部品品質	保証を付けて販売	5大部品流通禁止
	原料流通	機械的な選別が主体	人的選別により細かく分類

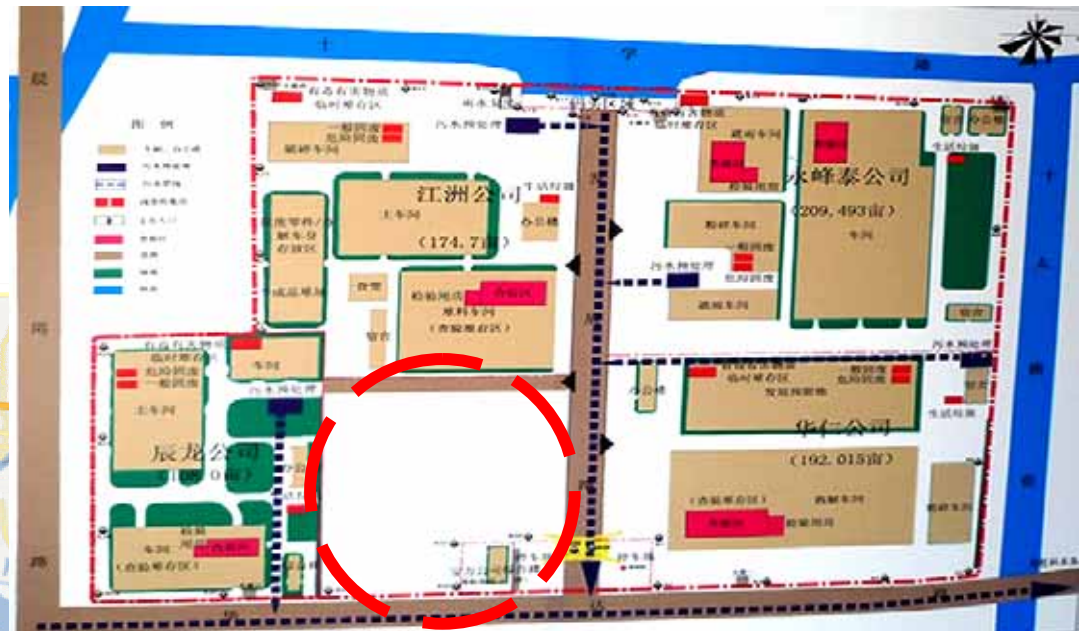
➤自動車生産台数の推移(1950 ~ 2010年)



卡帕(張家港)資源再生有限公司 概要1



上海から北西へ
高速道路で約2時間の距離



園區用地面積：1,867,600m²
(約565,000坪)

卡帕(張家港)資源再生有限公司 概要2



2012年 7月 稼働予定

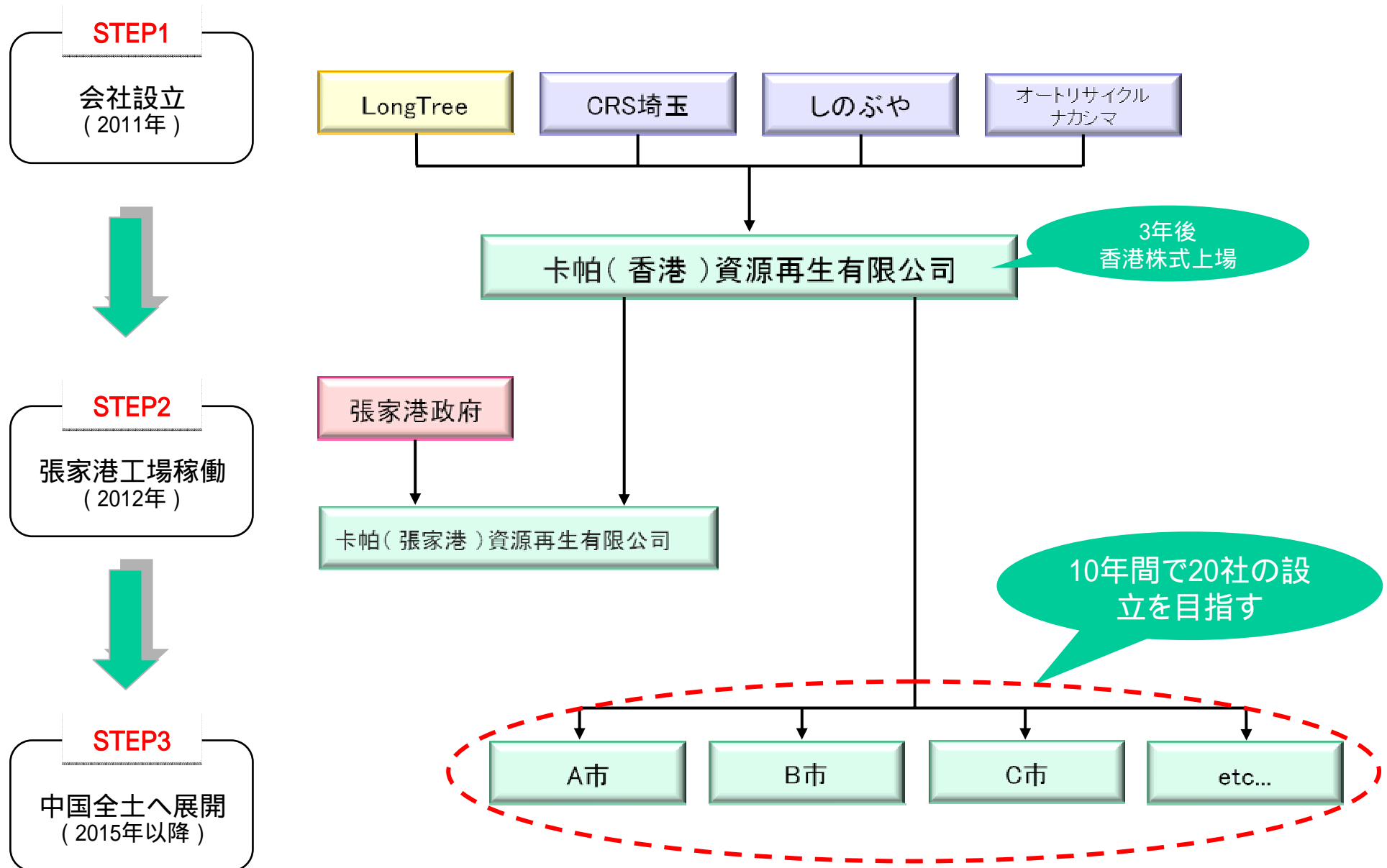
総事業費： US\$ 19,375,000

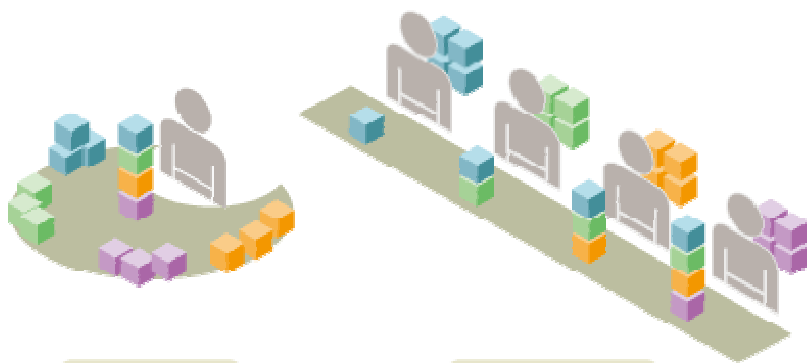
敷地面積： 66,700m²
(約 20,000坪)

月間処理台数： 10,000台

従業員数： 280名

卡帕(香港)資源再生有限公司 構想図





セル生産方式

ライン生産方式



中国での手選別作業



シュレッダープラント



フロンガス回収機



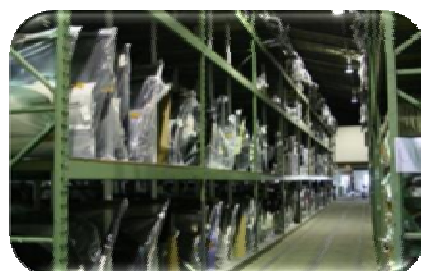
エアバック



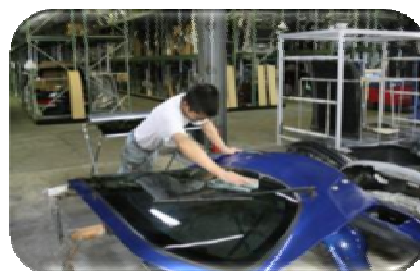
ASR



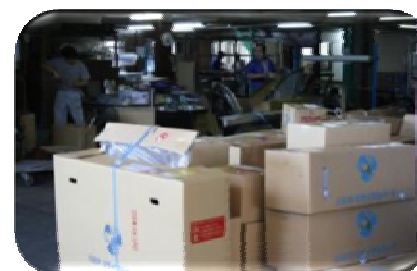
CRS埼玉使用カルテ



中古部品倉庫



中古部品磨き



中古部品出荷待ち

株式会社CRS埼玉

〒350-0083

埼玉県 川越市 芳野台 2-8-36

TEL : 049-228-5111

FAX : 049-228-5113

URL : <http://www.crs-saitama.com>

Mail : info@crs-saitama.com

担当者 : 加藤 / 三澤

卡帕（張家港）資源再生有限公司

〒215633

江蘇省 張家港市 保稅區 華達通り
輸入カープレス解体園区

TEL : 0512-58108303

FAX : 0512-58108505

担当者 : 栄